

かがわ医療福祉総合特区 [指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

正
準

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.2+3.3) \div 2 = 3.3$

3.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	電子カルテ機能統合型テレビ会議システム「ドクターコム」等による遠隔医療の推進	91%	4
2	へき地薬局の人口当たりの処方せん枚数の割合	71%	3
3	医療ライブラリ事業実施によるへき地離島の医師等の負担軽減	185%	5
4	複合型サービス施設	75%	3
5	病院施設を一部転用した福祉施設《定性的評価》	-	-
6	市町村運営有償運送	33%	1

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 2 + 2 \times 0 + 1 \times 1) \div 5 = 3.2$

3.2

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(1.3+3.3+3.0) \div 3 = 2.5$

2.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

・該当なし

専門家による評価の平均値

1.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.0

正：平成27年3月末までに計画が認定された地区／準：平成27年3月末時点では計画が認定されていない地区

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.4

・全体として概ね順調に進捗しているものと評価するが、数値目標が低く設定されている。全国展開を目指すモデル構築には事業計画の見直しが必要。

・ドクターコムを利用する患者数が増えていることや、医療ライブラリ事業が医師に使われていることは評価できる。一方で、デジタル化した医療だけでなく、既存のアナログ的な医療との共用を検討し、全体システムを考えるべきではないか。

・病院施設の一部転用による福祉施設の整備がスタートすることで、小豆島における医療・福祉の総合的な展開の拠点として機能できるように、その運用面や人材活用面で、先行するモデル等の参照も含め、戦略的に取り組む必要がある。

・へき地薬局や市町村運営有償運送については、実際の変化やニーズの検証、分析が望まれる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.4

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.3 + 2.5 + 3.4 \times 2) / 4 = 3.2$

3.2

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。